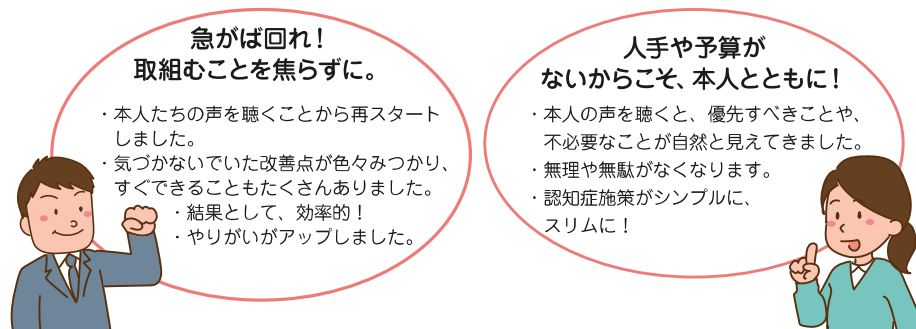


1-1 本人参画の目的 ~なぜ本人の声を聴くのか~

(1) 本人参画の目的

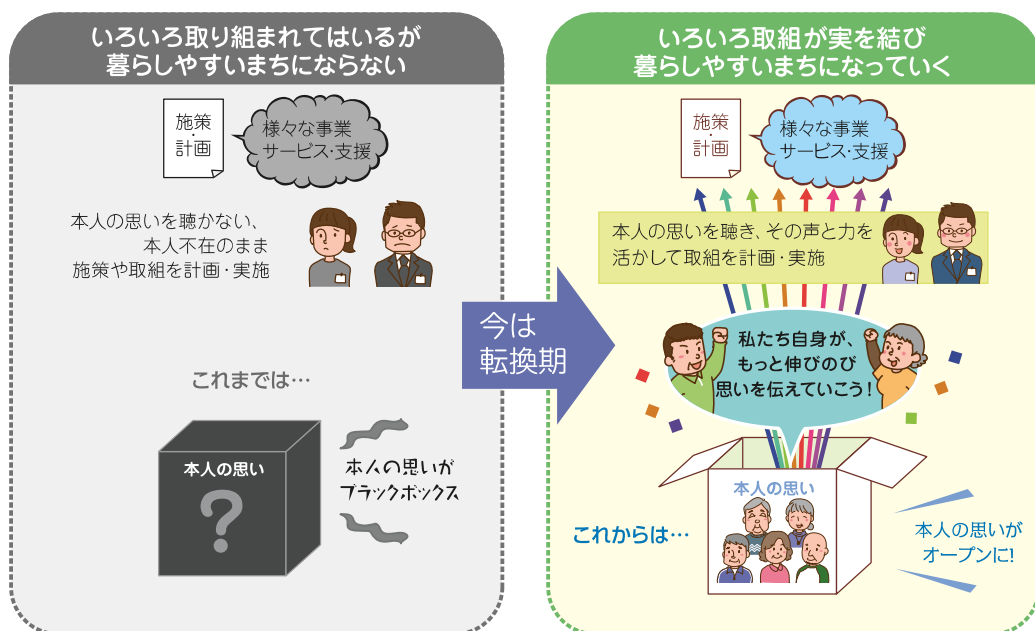
- 本人参画の目的は、「認知症になってからも、希望と尊厳を持って暮らせる社会」を本人と共につくることです。そのためには、認知症をもちながら暮らす本人に「本人にしか分からないことを聴く」ことです。「本人の声を聴く」ことがすべての出発点です。
- ただし、本人が語る言葉や思いを鵜呑みにし、それをそのまま施策に取り入れることが本人参画ではないという理解も必要です。本人個人の願いを叶えることが本人参画ではなく、本人と対話し、共に考え、より暮らしやすい地域をつくる施策を進めることが本人参画の目的です。



(2) 本人参画の意義

- 本人たちが感じていること、求めていること、大切にしたいことを関係者が共有し、それを守り、実現するために何をすべきかを一緒に考えることで、これまで気づかなかった様々な観点から暮らしやすいまちづくりにつなげていくことができます。

一人ひとりが思いを伝えることが、暮らしやすいまちにつながっていきます



(3) 本人参画のメリット

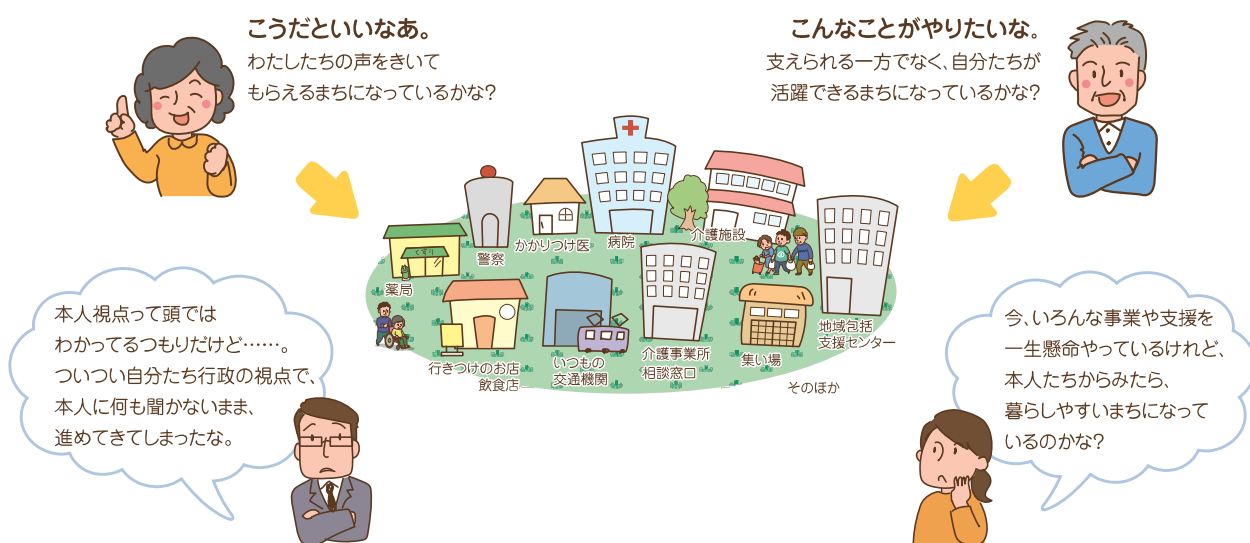
- 本人自身にとってのメリット、自治体にとってのメリットがあります。
- 両方のメリットを自治体職員が理解しておく必要があります。
- どのような効果が期待できるのかを知っておくことで、取組のモチベーションにつながることでしょう。何よりも、本人の声に裏付けられた説得力のある施策の提案が可能になります。

本人参画に取り組むメリット

| 本人 | 自治体 |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ✓ 社会参画の機会を得られる ✓ 自分の思いや意見を表出できる ✓ 共生社会の実現に向けて参画できる ✓ 失っていた自信を取り戻せる ✓ 自分の役割や活力を見出せる ✓ 経験を重ねて伝える力（発信力）が高まる ✓ 認知症になってからの新たなやりがいを得られる ✓ 仲間が増える | <ul style="list-style-type: none"> ✓ 行政視点から本人視点に変わるきっかけになる ✓ これまで気づかなかった必要な事が見えてくる ✓ 優先順位をつけやすくなり業務の効率化に役立つ ✓ バリアフリーにすべき具体的なことがわかるようになる ✓ 本人を起点にすることで、立場や職種を超えて関係者のベクトル合わせがしやすくなる ✓ 認知症の人への理解が深まる |

- ✓ **説得力のある施策の提案ができる**
- ✓ 本人参画がはじまると、前を向いて生きようとする本人が増えてくる
- ✓ 一人の本人の参画が、次に続く本人にエネルギーを与える
- ✓ 新しい認知症観を広めるきっかけになる
- ✓ **本人起点での、効果的な施策になる**

地元で暮らす認知症の本人から、わがまちを見てみると……



(出典) 一般社団法人日本認知症本人ワーキンググループ「本人とともに進める認知症施策改善ガイド」2019年.3月, 11ページ